



議会だより

北栄



令和4年度決算認定 2

 ここを問う 6

新体制スタート 15

「これが青パイヤ」



<http://www.e-hokuei.net>

北栄町議会

検索



令和4年度決算認定

Aコープ下北条 閉店 買い物救済にタクシー券

9月定例会を9月6日から22日まで開催。令和4年度会計決算の認定11件と条例2件、本年度補正予算8件など追加議案を含む27議案を審議。全て原案通り認定、可決、同意された。請願、陳情は各1件が不採択となった。

今回の補正予算で合計4億6102万円が追加された本年度一般会計の歳入歳出総額は、118億2781万円となった。

ふるさと納税 好調維持

令和4年度の一般会計決算は歳入115億5978万円、歳出111億3184万円。翌年繰越額を差し引く実質収支は、前年比約9000万円(24%)減の2億8740万円となり、令和2年度並みであった。

右肩上がりが続くふるさと納税は、新たに始まった「企業版ふるさと納税」を含め前年約8割増の8億1331万円。初の8億円超えとなり、納税額は県内3位。今や主要な自主財源となっている。

本年度一般会計 予算の追加

令和9年オープンが予定さ

れる「青山剛昌ふるさと館」の建築基本設計等に7799万円のほか、新しく命名された「道の駅ほうじょう」関連に4件で総額9億9935万円の工事請負契約が締結され、次々に大型プロジェクトが動き出した。

さらに9月29日に閉店したAコープ下北条店の周辺住民の買い物支援に、緊急緩和措置として町内限定の300円タクシー券交付に768万円。レークサイド大栄のグラウンドゴルフBコースの人工芝の張り替えには236万円が計上された。

また橋梁の維持や、8月の台風7号による災害復旧に2862万円が盛り込まれた。



長い間お世話になりました

水道料金債権の放棄

平成17年度から令和元年度までの徴収できなかった水道料金760件、1612万円の債権を放棄するもの。破産や廃業、事業所の倒産、本人の死亡や相続人不在等の理由で回収が見込めない水道料金の会計上の手続きにおいて、議会の議決を求めた。(質疑は4ページ)

令和4年度決算

タクシー利用料に助成

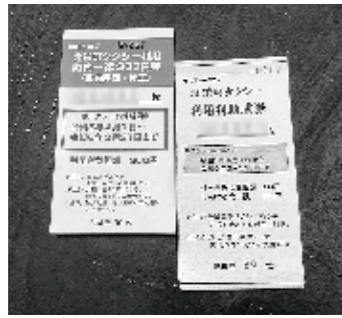
問 町田 貴子

年々高齢者の増加が予想されるが、この制度は継続できるのか。

答 小澤福祉課長

利用者の状況や居住地域により条件が異なるが、この事業は必要。助成内容はその時々状況で考える。

質疑あれこれ



続けてほしいの

バイオマスボイラー成分分析

問 中山 功一

1 分析の結果は。
2 成分分析を、毎年行うのか。

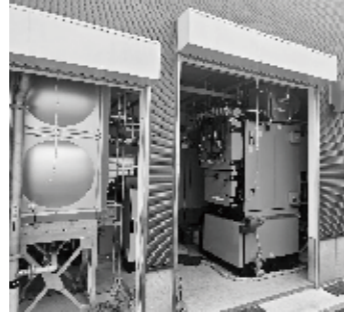


収穫中のねばりっこ

問 長谷川 昭二

1 支援した農家の数と内容は。
2 必要額に不足はないか。

野菜価格の安定対策



B & Gバイオマスボイラー

答 杉本環境エネルギー課長

1 煤煙は環境基準に適合し、燃焼灰が農家の肥料として使用可能か否か、検討中。
2 煤煙は毎年の検査が、法令で義務付けられている。

答 清水産業振興課長

1 生産者数は312戸。ねばりっこ、小松菜、ネギ等7品目を支援。
2 国、県やJA、全農ととり行う積立であり、不足はない。

青少年劇場巡回公演事業

問 斉尾 智弘

1 この委託事業で大栄中だけ芸術鑑賞を行ったが、他校が未実施の理由は。
2 令和5年度で、子どもたちが芸術に接する予定は。

問 前田 栄治

3 教育長として子どもたちのために、このような事業をさらに推進する計画はあるか。

答 前田生涯学習課長

1 大栄小はこの事業ではないが、弦楽オーケストラ鑑賞を行った。他校は日程が調整できなかった。
2 大栄中は6月に能と狂言を鑑賞。異なる事業で大栄小は鳥取県芸術宅配便を活用予定。北条小は警察音楽隊を希望。北条中は日程等を調整中である。

答 笠見教育長

3 幼少期に文化芸術に接することは大切と認識している。児童生徒の実情に合ったものを推進できるように、各学校に働きかけたい。

大栄小学校の校門移設

問 前田 栄治

以前はスクールバスや送迎の車も通り、狭くて危険だった。間隔を広げた後の児童の感想はどうだったか。

答 中原教育総務課長

アンケートは実施していない。児童にはこれを機会に、交通安全を考えてもらいたい。

診療所新規開設支援基金

問 油本 朋也

1 基金として2000万円計上されているが、報告できる具体的な進展はあるのか。
2 基金を増額してでも、開設を急ぐべきではないか。

答 吉岡健康推進課長

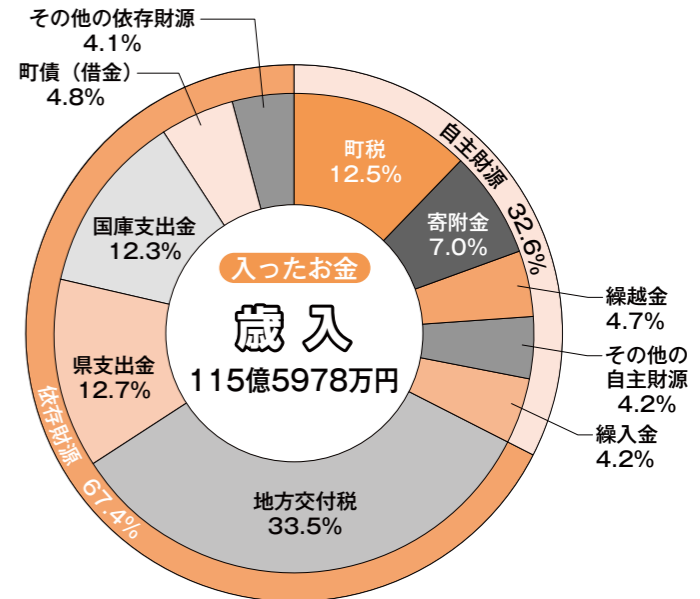
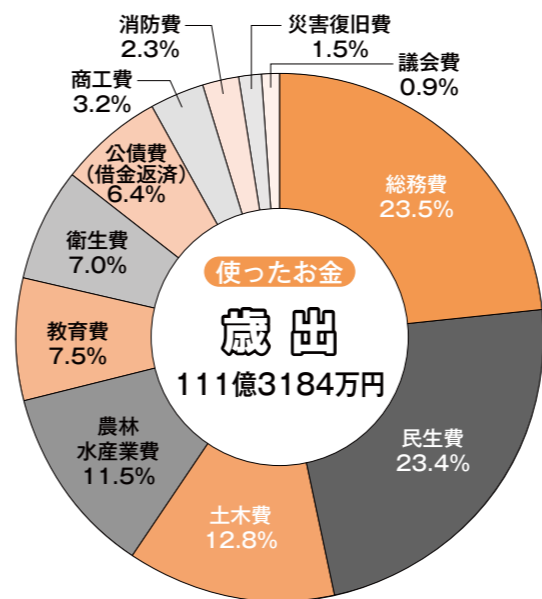
1 新聞報道や医師会の情報提供により、何件かの問い合わせがあった。しかしまだ具体化に至っていない。

答 町長

2 2000万円という金額の多寡ではなく、医療関係者の意思を尊重しながら少し時間をかけてでも、この問題はしっかりと対応したい。



鳥の劇場巡回公演



令和4年度 決算議案 審議結果

会計	歳入	歳出	審議結果		
一般会計	115億5978万円	111億3184万円	認定（賛成13）		
特別会計	国民健康保険	18億7352万円	18億1563万円	認定（賛成13）	
	介護保険	17億4071万円	15億8607万円	認定（賛成13）	
	農業集落排水	1387万円	1387万円	認定（賛成13）	
	栄財産区	65万円	19万円	認定（全会一致）	
	合併処理浄化槽	770万円	770万円	認定（賛成12）	
	大栄歴史文化学習館	8846万円	7502万円	認定（全会一致）	
	後期高齢者医療	2億710万円	2億641万円	認定（賛成13）	
公営企業会計	水道	収益的収支	2億7443万円	2億2670万円	可決及び認定（全会一致）
		資本的収支	4184万円	1億2433万円	
	下水道	収益的収支	9億6269万円	7億9980万円	可決及び認定（賛成13）
		資本的収支	7億947万円	10億9452万円	
	風力	収益的収支	4億4294万円	3億7760万円	可決及び認定（全会一致）
資本的収支		0	1億円		

*公営企業会計で資本的収支の支出額に対する収入額の不足は、内部留保資金等で補填しています。

一般会計決算審議 賛否あり

反対討論 長谷川昭二 **否**

*教育費の無償化や奨学金の支援など、教育の機会均等を保障する支援策が不十分。物価高騰で経済状況が悪化する町民の暮らしを守る予算になっていない。

賛成討論 井川 敦雄 **賛**

*年度当初予算の目的に沿って施策が適正に執行され、町民生活の向上につながったと評価する。

*町監査委員の審査意見書にあるよう、職員の努力と町民の協力で町財政は健全な運営状態である。

そのほかの主な審議結果一覧

条例	審議結果	
北栄町特別医療費助成条例の一部改正	可決（全会一致）	
北栄町道の駅北条公園の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決（全会一致）	
補正予算	一般会計補正予算（第5号・第6号）（4億3241万円・2862万円）	可決（全会一致）
	国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）（4872万円）	可決（賛成13）
	介護保険事業特別会計補正予算（第1号）（1億2648万円）	可決（全会一致）
	大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第2号）（1415万円）	可決（全会一致）
その他	後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）（1591万円）	可決（全会一致）
	工事請負契約の締結について【道の駅北条公園造成工事（北工区）】	可決（全会一致）
	工事請負契約の締結について【道の駅北条公園駅舎外新築工事（建築一般）】	
	工事請負契約の締結について【道の駅北条公園駅舎外新築工事（電気設備）】	
	工事請負契約の締結について【道の駅北条公園駅舎外新築工事（機械設備）】	
	債権の放棄（水道料金）	同意（全会一致）
教育委員会委員の任命		

みなさまからの 請願・陳情 はこうなりました

請願・陳情件名	請願・陳情者名	採決	委員会意見
消費税インボイス制度の実施中止を求める請願	鳥取県民主商工会連合会 会長 奥田 清治	不採択（賛成2）	10月1日に施行されるインボイス制度の中止を求めることは、さらなる混乱を招くため現実的ではない
陳情書等の電子的方法による提出についての陳情	足羽 佑太	採択（全会一致）	行政手続きの簡素化のため電子メール等で提出された請願・陳情文書等を受け付けることに議会側に不利益はない
国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情	インボイス制度を考えるフリーランスの会 代表 阿部 伸	採択（賛成12）	制度の理解が不十分であり、また中小零細企業の事業存続のため見直しを求める必要がある
ガソリン価格の高騰に係る意見書の提出についての陳情	足羽 佑太	不採択（賛成0）	すでに国において、補助金の延長が見込まれるため

令和5年度補正予算 質疑あれこれ 激論！ インボイス制度

令和5年度補正予算

由良駅開業120周年

問 油本 朋也

コナン駅愛称化の10周年記念パネル作成が計上されているが、今年是由良駅の開業120周年でもある。愛称化記念と同様に、開業記念行事は。

答 松本観光交流課長

開業120周年は承知している。関連する記念イベントは、愛称化記念行事と並行して検討している。



この駅今年めでたいんです

下北条地区緊急タクシー助成

問 斉尾 智弘

栄地区など以前から買い物に不便を感じていた地域が、町内

には他にもある。なぜ今回のタクシー助成が下北条地区に限定されたのか。

答 小澤福祉課長

この助成金は、あくまで今回のAコープ下北条店の閉店対策として県からの50%補助が含まれた激変緩和措置。地域の周辺住民や、民生委員会からもタクシー券の充実が要望された。

高校魅力化 支援事業

問 奥田 伸行

どんな団体に、何を期待しているのか。

答 中野企画財政課長

地域の高校が頑張っている姿を、発信する民間グループ。来年度の入学者を増やすため、その姿を中学生や保護者に知ってもらう取り組み。



集え入学者 鳥取中央育英高校

水道料金 債権放棄

問 野田 秀樹

1 水道料金の時効は何年か。
2 未収金になっている町の財産1612万円を、放棄するため議会に諮るのか。
3 水道料金が滞納になった場合の対策は。

問 油本 朋也

4 不納欠損の累積の公表だが、今後発生したら報告はいつか。

答 手嶋地域整備課長

1 民法改正前の令和2年3月末までの給水契約なら2年。それ以降なら5年。
2 会計上の不納欠損処理は終わっているが、時効の援用がなく入金の見込みがないものを簿外で抱えている状態。議決を経て私債権を消滅させたい。
3 滞納が発生した翌月10日以内に督促状。納付がなければ財産を調査。裁判所への申し立てや給水の停止を視野に入れ、滞納を整理し圧縮する。
4 確認されれば毎年3月定例会に報告を行い、議決を求める。

激論 『インボイス制度』

請願・陳情に 明暗

インボイス制度に関連する趣旨の異なる請願と陳情が各1件ずつ提出された。民生経済常任委員会では、制度の「中止」を訴える参考人との質疑応答もあり、慎重に審査された。その結果、制度の実施中止を

賛否あり

賛成討論 長谷川昭二

この制度の導入は税率変更なしの増税で、フリーランス、小規模農家、シルバー人材センター等に大きな影響を及ぼす。事業継承、雇用の維持に懸命に取り組む小規模事業者に苦しい生活を強いることになる。

反対討論 斉尾 智弘

消費税の正確な把握が可能になる。新規登録者には一定期間消費税納付の減免措置がある。

賛成討論 井川 敦雄

制度の理解が不十分で、小規模事業者のため見直しが必要。

反対討論 斉尾 智弘

政府は円滑な制度の導入に向け、新規登録業者に減税措置を行い、説明会も開いている。

賛成討論 井川 敦雄

制度の理解が不十分で、また中小零細企業の事業存続のため見直しを求める必要がある

反対討論 斉尾 智弘

政府は円滑な制度の導入に向け、新規登録業者に減税措置を行い、説明会も開いている。

地域防災の充実

防災士、自治会、町との連携を

町長 連携していく



みのはらみゆり
秦原美百合



防災訓練

全自治会に1人以上配置し、定期的に交流会を開き、情報提供や意見交換をしながら、連携していく。

秦原 住民の命と財産を守るために災害への備えを万全にすることが必要。以下の点について伺う。

- 1 誰もが助かるための避難行動要支援者名簿は、自治会と情報共有することが必要では。
- 2 地域の共助力向上のための支え愛マップの作成、自主防災組織の取り組み状況と課題は、町との連携が必要では。

町長 ①名簿は個人情報で、同意が得られていないものもあり取り扱いに注意する必要があります。希望する自治会には提供する。外国人労働者は避難行動要支援の対象外となっている。

②支え愛マップは21自治会で作成、自主防災組織は48自治会で組織。課題は自治会の機運の醸成。活動できるように支援していく。

③防災士を防災リーダーとして、配置を進めている。全自治会

町政 ここを問う



質問事項	質問者	ページ
地域防災の充実	秦原美百合	7
認知症対応		
小・中学校の整備	斉尾 智弘	8
心肺蘇生法		
道の駅ほうじょう	中山 功一	9
学校と地域の連携		
奨学金の返還支援	長谷川昭二	10
廃プラスチックのリサイクル		
子どもの貧困対策	秋山 修	11
防災への取り組み		
小学生の熱中症の対策強化	尾嶋 準一	12
自転車の損保加入の推進		
首長のトップセールス	前田 栄治	13

9月定例会では8人の議員が一般質問を行いました

正しい理解と気づきを 町長 尊厳ある暮らしを支援

認知症対応

秦原 令和5年6月に、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が公布。発症を遅らせたり進行を緩やかにさせたりする「予防」と、発症しても希望と尊厳を持って地域社会で暮らせる「共生」を2本柱としている。

町長 ①「認知症サポーター養成講座」を開催。累計で4579人養成。課題は認知症を正しく知ってもらい、生活に支援の必要な人に気づき、声かけや必要な支援につなげる事ができる人を増やしていくこと。

②発症予防は、認知症予防教室を開催。また、出前講座をしている。高齢者サークルなどで活動の推進及び支援をしている。男性の集える場も検討したい。集団健診時にタッチパネルで早

①認知症を正しく理解し行動できる環境づくりについて、認知症サポーターの養成状況等取り組み状況と課題は、

②認知症の対応には、「発症予防、早期発見・治療、進行防止」がある。今後の取り組みは、



町政ここを問う

町政ここを問う

道の駅ほうじょう

毎年いくらかかるのか

町長 多い年で約3400万円



なかやま こういち
中山 功一

中山

① 経済的
内容について。道の駅ほうじょうの総工費、町の負担割合と金額、後年の実質負担額。指定管理業者との契約金額、起債償還を含めた年度毎の金額。

② 主な利用者は地元住民か、町外者か。

③ 新たな雇用は発生するか。

町長

① 総工費は約22億円、うち町の事業費は約16億5000万円(約75%)。有利な起債の活用で後年の実質負担額は、約3億7000万円。

指定管理業務委託料は総額9200万円、令和7年度からは単年度で1200万円。起債償還は多い年で約2200万円。単年度の委託料と起債償還の合計額は約3400万円。



道の駅ほうじょう 南エリア (完成予想図)

② 町外者・町内者ともに利用者として想定。

③ 30人程度の地元雇用を計画し、地域における新たな雇用創出に期待。

小・中学校の整備

体育館にエアコンを

町長 費用対効果から考えていない



さい お ともひろ
齊尾 智弘

齊尾

最近、全教室にエアコンが設置された。今後は緊急防災減災事業債を活用し指定避難所である体育館へのエアコン設置を進めるべきでは。

費用の面で不可能なら、スポットエアコンであれば安価が見解は。

町長

緊急防災減災事業債も借金である。費用対効果の観点から体育館への設置は考えていない。

避難時には大型冷風機を考えていたが、安価でいいものがあればそちらを選びたい。



指定避難所になる体育館

心肺蘇生法

自治会にAEDを

町長 補助制度で対応

齊尾

心臓マッサージは早い方が良いといわれている。いざという時に速い処置が出来るように、心肺蘇生法の習得と自治会にAEDの設置を。

町長

自治会で防災訓練をする際に心肺蘇生法を学びたいということがあれば、消防士など専門の方に来ていただくことはできる。

AEDの設置については、自治会で管理するというのであれば、今の補助制度で対応できる。



1秒でも早い対応を

他の質問

▼奨学金返還支援制度の取り組みについて

学校と地域の連携

コミュニティスクールってなあに

教育長 地域とともにある学校づくりを目指す仕組み

中山

① コミュニティスクールは、学校の概要と具体的な活動内容は、

② コミュニティスクールとPTA活動との関係は。

③ 学校部活動の地域移行について、県中部4市町間における協議の進捗は。

教育長

① 学校と保護者や地域で知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ協働しながら子ども達の成長を支え、地域とともにある学校づくりを目指す仕組み。

具体的には地域の方が

入った家庭料の実技指導。

② 独立した立場で、それぞれの目的を持ちながら、協働して活動を行う協力関係にあるものと理解している。

③ 新たな動きはない。先般、県としての考え方が示されたので、その内容を踏まえて改めて協議を進めていく予定。



毎年お世話になっています

子どもの貧困対策

どうなっているの

町長 すでに取り組んでいる
教育長 望ましい環境づくりを支援



あきやま おさむ
秋山 修

秋山

①努力義務とされる「子どもの貧困対策計画」を策定しているか。していないとすればなぜか。
②子どもの貧困、ヤングケアラーの実態把握と対策は。
③こども家庭庁発足に伴い、「こども計画」の策定が努力義務として求められているが対応方針は。

町長

①策定はしていないが、この計画で実施すべき事業はすでに取り組んでいる。

教育長

②ヤングケアラーに該当すると考えられるケースを、現在1件把握している。
③策定はしていない。国の施策がスムーズに実施できるように、教育委員会と連携しながら対応したい。

こどもまんなか こども家庭庁

対応としては関係者で状況を注視しつつ、対象の子が望ましい生活が送られるような環境づくりに努めている。

奨学金の返還支援

支援で若者の移住

町長 支援は考えていない



ながたに しろ
長谷川 昭二

長谷川

2022年の自死の原因や動機は、関係省庁によると、奨学金の返済苦が10人該当。内閣官房によると、若者が地方に移住して行くことを期待して奨学金の返済を肩代わりする自治体は、36都府県、615市区町村。また、事業主が負担する場合もある。こうした支援を国、事業者へ働きかけるとともに、本町も導入を。

町長

国は、奨学金返還支援制度を制定し、奨学金を活用した若者の地方定着を促進している。
また、県は「鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金制度」を創設している。これらを検討していただきたい。
本町での制度導入や企業への導入の働きかけは、現在のところ考えていない。



帰ってこいよ～

長谷川

廃プラスチックは、海洋汚染など様々な環境汚染を引き起こし、世界的な問題となっている。欧米基準で見た日本の廃プラスチックのリサイクル率は25割で、欧米諸国の平均30割に比べて低い。

町長

本町は、脱炭素ロードマップを作成している。プラスチックごみの分別を住民と一緒にすすめて再資源化を図り、カーボンニュートラルへの取り組みを。

廃プラスチックのリサイクル 住民と一緒に再資源化

町長 周知と住民の理解が必要

理システム等検討委員会」を設置し、中部地域が目指す処理システムの方向性、基本構想、プラスチック資源の分別回収方法など、検討している。焼却処分をしているプラスチックは、カーボンニュートラルへの一方策として分別、再資源化を進める。琴浦町の軟質プラスチックごみの分別を参考にし、分別の啓発、促進という観点で取り組みなにか検討中。周知と住民の理解に向け、しっかりとやっていきたい。



生まれ変われペットボトル

防災への取り組み

現状と今後は

町長 自治会を支援
教育長 防災士資格取得を促す

秋山

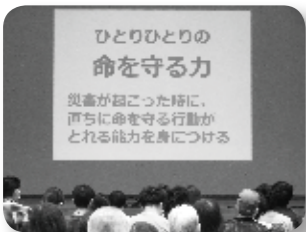
①自治会防災関係の自主防災組織、防災士、支え愛マップの取り組みの現状と今後は。
②以前、「小中学校教職員にも防災士の資格を」という一般質問に「実施する」と答弁。東日本大震災をみると、教職員の判断には重いものがある。何人の資格取得者が生まれたか。
③避難行動要支援者名簿と個別避難計画の作成状況、利用方針は。また、警察と情報共有はできているか。

町長

①自主防災組織は48自治会、防災士は55名養成、支え愛マップは21自治会で作成。今後も自治会長会、福祉大会などで推進・支援していく。

教育長

②現在、小中学校教職員の資格取得者はゼロだが、校長や教頭、安全担当者は防災や危機管理に関する研修会を受けている。防災マニュアルに沿って生徒の引き渡し訓練等も行っている。
過度の負担を生じさせることがないように資格取得を、促していく。



自立支援協議会の防災研修

町政ごころを問う

町政ごころを問う

首長のトップセールス

北尾地域の開発を

町長 積極的にアピールを



前田 栄治



北尾地域の開発を

前田

① 首長のトップセールスについての所感は。
② 北条地区に、土地家を求めている若い世代が多く、近くにスーパーや小中学校、病院が必要と考えられる。北尾地域は、商業施設進出に適地であり、駅やバス停も近く、開発に取り組むべき。

町長

① 東京、大阪、名古屋で開催される企業交流会や、鳥取県人会として県東京本部及び関西本部と連携しながら、本町の立地の優位性を発信し、働きかけている。
② 北尾地域の開発については今後、企業の進出に有望なエリアとなると認識している。特に有効な地域と捉えたエリアは、企業進出を支援したい。

小学生の熱中症の対策強化

保冷背当てパットの支給を

町長 考えていない
教育長 各個人で積極的に



尾嶋 準一

尾嶋

地球温暖化が進み、今は地球沸騰化時代と言われている。徒歩通学ではランドセル、水筒、着替えなど、約5kgの荷物をもって通学している。下校時も気温が依然として高く危険である。来年の夏にはランドセル用の保冷背当てパットの支給を。

町長

熱中症対策は、個人一人ひとりが自己管理や自己防衛を行うことが出来るよう指導することが必要。
保冷背当てパットは、下校時まで冷却機能を保持できない事もあり、対策として有効なのか疑問。配布は考えていない。

教育長

すでに、帽子の着用や水分補給などを各自で行っている。保冷背当てパットも各個人で利用していただきたい。
そのほか、冷却タオルなどの予防グッズの積極的な活用を啓発する。



あついです

町政ここを問う

町政ここを問う

自転車の損保加入の推進 多発する加害事故

町長 保険加入を促進
教育長 助成は難しい

井川

近年、自転車事故が多発しており、高額な賠償を求められる加害事故も発生している。そこで、自転車損害賠償保険について何う。
① 本町における加入状況と、その周知は。
② 児童・生徒の加入の管理は。
③ 要保護世帯、準要保

町長

護世帯の児童・生徒に対する費用助成は。
① 加入状況は把握していないが、今後は交通安全運動期間中の町内放送等により、周知と加入の促進を図っていく。

教育長

② 現在、状況の管理は



井川 敦雄



他人事ではありません

「議会出前座談会」

議会活動の報告と町政全般について町民の皆さんと意見交換を行う「議会出前座談会」を比山自治会で開催し、13名の方に参加していただきました。

地域医療

問 岡本医院が無くなった、由良地区に内科医院は必要だ。補助金があれば開業しやすいと思うが。
答 県へも要望している。開業されるのに2000万円の基金を積み立てた。問い合わせはあるようだが、決定はしていない。

少子高齢化

問 比山は少子高齢化で小学生はゼロ、人口を増やすためにも、住みやすい環境づくりを考えて欲しい。
答 一般質問でも「商業施設を誘致してはどうか」「子育ての問題」「過疎の問題」等取り組んでいる。



比山自治会

新体制スタート!!

令和5年10月23日の臨時議会において、津川議長、斉尾副議長の辞職に伴い、正・副議長の選挙を行いました。また、任期満了に伴う各常任委員会委員の選任などを行い、今後2年間の新体制が決まりました。



副議長
油本 朋也

2度目の副議長となりました。前回4年前は就任後間もなく新型コロナウイルスの感染拡大により、活動するはずだった場面の多くが中止。前副議長と共に議会の代表として表舞台で活躍する機会が失われたまま、時だけが経過していくことを忸怩たる思いで過ごしたことを鮮明に記憶しています。

その時の思いを胸に、今から始まるこの2年間は町の大型事業が進む中、議員全員が明確な問題意識を持ち責任のある議決ができるよう、野田議長を補佐しながら共に議会をリードし、議会と町の発展のため、水を得た魚の如く、悔いを残さぬよう任務を遂行して参ります。



議長
野田 秀樹

公平公正な議会運営はもちろんのこと、現在取り組んでいる議員定数・報酬等の検討、そして施工が始まる「道の駅ほつじょ」の新築、さらには「青山剛昌ふるさと館」の移転新築、「中央公民館大栄分館」の建替、放課後児童クラブ「大栄こども学級」の新築等、大型事業が予定されています。特別委員会を設置している事業に関しては、委員会を中心に、特別委員会が未設置の事業に関しては、委員会設置も視野に入れ、議会の基本であるチェック機能を強化し、議会一丸となり取り組んでいきます。

一步進んだ議会改革とICT化

議会運営委員会 調査報告

令和5年7月18日から20日までの3日間、取手市・那須町・喜多方市の議会に行ってきました。
「デジタル化によるオンライン会議やペーパーレス化、住民参加の議会活動など、先進地の取り組みを調査し、今後の北栄町議会の改革とICT化を進めます。」

(1) 茨城県取手市議会

タブレット導入の背景にあったのは、老朽化した採決システムの、アプリへの切り替え。狙いは、経費削減と、議会のペーパーレス化であった。

コロナ禍での災害対策会議を皮切りに、令和2年8月にタブレットを導入。11月にオンラインでの委員会をスタート。12月にはアプリによる本会議での採決が行われている。

さらに、会議での発言を即日文字データ化してインターネット配信などもしている。



取手市議会



那須町議会

(2) 栃木県那須町議会

平成25年4月に議会基本条例を制定し、令和3年にはコロナ禍でのオンライン委員会の試行やタブレットの導入とペーパーレス化を行っている。

また、条例の議員提案や議会のパブリックコメント実施要綱を制定している。その他、執行部との政策懇談会の実施、議会広報モニター制度の導入、ウェブアンケートの実施、予算特別委員会の通年化、常任委員会の代表質問制度の導入、議員間討議を行い、議案への附帯意見を付す等行っている。

また、条例の議員提案や議会のパブリックコメント実施要綱を制定している。その他、執行部との政策懇談会の実施、議会広報モニター制度の導入、ウェブアンケートの実施、予算特別委員会の通年化、常任委員会の代表質問制度の導入、議員間討議を行い、議案への附帯意見を付す等行っている。

(3) 福島県喜多方市議会

平成27年9月の議会改革推進会議により、タブレットによるペーパーレス化、IT機器の動作環境整備を確認し、先進地視察、議会ICT専門チームの設置、タブレットの操作と会議システムの体験や講習会等を経て、平成30年9月の定例会より、タブレットと紙の併用でスタートしている。

これによって、情報伝達の迅速化、資料の横断的活用など、議員活動の充実、災害時の最新情報の発信・受信などの危機管理対応の向上、会議資料削減などの導入の効果が出ている。

これによって、情報伝達の迅速化、資料の横断的活用など、議員活動の充実、災害時の最新情報の発信・受信などの危機管理対応の向上、会議資料削減などの導入の効果が出ている。



喜多方市議会

提言

- 通信環境の整備やセキュリティ対策など、執行部の関与も必要となるが、ペーパーレス化を進めるためには貸与されたタブレットだけでなく、複数の端末が会議で利用できるよう検討が必要。
- タブレット操作技術の向上のために研修を重ねることが必要。
- 住民との意見交換会は、少人数にグループ化するなど発言しやすい雰囲気づくりも必要。
- 本会議等の映像配信や、広報のウェブでの情報提供など、今後検討が必要。
- 委員会ごとの代表質問や議員間討議について、議会の活性化を図る上で実施要綱などの具体的な検討を進める必要がある。

委員会構成

議会運営委員会

委員長 前田 栄治
副委員長 町田 貴子
委員 中山 功一
委員 井川 敦雄
委員 奥田 伸行
委員 油本 朋也

広報広聴常任委員会

委員長 中山 功一
副委員長 河本 文哉
委員 井川 敦雄
委員 尾嶋 準一
委員 奥田 伸行
委員 斉尾 智弘

総務教育常任委員会

委員長 奥田 伸行
副委員長 尾嶋 準一
委員 中山 功一
委員 河本 文哉
委員 荻原美百合
委員 斉尾 智弘
委員 長谷川昭二
委員 野田 秀樹

鳥取中部ふるさと広域連合議会議員

野田 秀樹
油本 朋也

鳥取県後期高齢者医療広域連合議会議員

町田 貴子

民生経済常任委員会

委員長 井川 敦雄
副委員長 津川 俊仁
委員 秋山 修
委員 油本 朋也
委員 町田 貴子
委員 前田 栄治
委員 阪本 和俊



我がまちの宝



いのうえ
井上
まえみち
前道
しらさき
白崎

あおい
愛生さん
みお
美桜さん
まどか
円さん

5年生(左)
5年生(中央)
5年生(右)
(北条小学校)

しんのき
進木 とみお
富夫さん (78歳)

(由良宿3区)



北条なかよし学級のダンスチームのリーダーです。
「北条ふるさとまつりのダンス、がんばります!!」



ゆらりん工房でランプを作っています。
ランプ作りを通して県内外の人とおしゃべりが楽しいです。

知っとななる?こんな北栄

ほうじょうしょうがっこう 北条小学校ひょうたん池

北条小学校の前庭にひょうたん池と呼ばれる小さな人工池があります。

過去には「水の入替えができずいつも汚れている」「児童が落ちて危険」という理由で埋められてしまっていました。

平成26年にボランティアの方々を中心に「ひょうたん池復活大作戦」の取り組みが始まり、生物の住む水辺としての以前のひょうたん池が姿を現しました。翌年にはソーラーパネルとポンプが整備され、自動循環型の池となりました。美しい芝生に囲まれた池の中には水生動物が住んでいます。

ひょうたん池は北条小学校児童の貴重な自然観察の場となっています。



編集後記

新しい広報広聴常任委員会のメンバーが決まりました。引き続き、北栄町で起こっていること、これから起こること、今問題になっていることなど、議会目線で、皆様にお届けしていきます。

喜んで読んでいただける議会だよりを町民の皆様と一緒に作り上げていきたいと願っています。皆様の声に耳を傾け、反映させていく委員会です。お読みいただいた感想や疑問点などのご意見をお聞かせください。老若男女、さまざまの方の声をお待ちしております。これから2年間よろしくお願います。
(中山)

発行責任者	議長	野田 秀樹
編集	副議長	中山 功一
	委員	河本 文哉
	委員	井川 敦雄
	委員	尾嶋 準一
	委員	奥田 伸行
	委員	齊尾 智弘